

[238]九州大学大型計算機センターニュース :
No. 238

<https://doi.org/10.15017/1495118>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 238, pp.1-2, 1981-09-03. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



1981. 9. 3

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 238

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2506

目 次

1. 磁気テープの記録密度について	1
2. 共用ボリュームの利用についてのお願い	1
3. カード保管棚の整理について	2

1. 磁気テープの記録密度について

磁気テープの記録密度は下記の二つの方法によつて決定されます。センターニュースNo. 221でお知らせした方法と若干異なりますので注意して下さい。

- ① カタログドプロシジャMTINITを利用して初期化(イニシャライズ)するとき、DENパラメータを指定する。省略値はDEN=3(1600BPI)である。
- ② 磁気テープに順序番号(LABELパラメータで指定する)を1と指定しデータセットを作成するとき、DCBパラメータで①と異なる記録密度を指定すると、この値が①に優先する。省略時は①で指定した記録密度となる。

(業務掛 電(内)2518)

2. 共用ボリュームの利用についてのお願い

TSSの普及、ジョブ件数の増大に伴い、共用ボリュームの利用量は今後増加することが予想されますが、ボリューム容量、システム効率などの面から無制限に開放量を増すことは難しいので、共用ボリュームを利用される方は以下の点についてご協力願います。

1. すでに確保量が制限値を超えて利用している場合。(リスト仕分情報に警告がある。)

・確保量が6MB以内に収まるようにデータセットの整理をする。

- ・データセット個数が20個をこえている場合は、区分データセットにまとめる。

(利用の手引—ジョブ制御文編参照)

2. できるかぎり区分データセットを利用する。(システム内のデータセット数が多くなる分だけアロケーションに時間を要し効率ダウンの一因となるため)
3. 必要のないデータセットは速やかに消去する。
4. 容量の大きいデータセットはMSSのマストレージボリュームを利用する。

(業務掛 電(内) 2516)

3. カード保管棚の整理について

オープンパンチ室およびデバッグステーション室等に備え付けているカード保管棚を9月末(28日~30日)に整理します。カード保管棚利用期限(受付日より6ヶ月)が切れたまま利用されている方は、9月26日(土)までに継続の申込みを2階受付で行つて下さい。期限切れの保管棚にあるカード等は、2階入力ステーション室内で1ヶ月保管したあと廃棄処分します。

(業務掛 電(内) 2518)